



平成28年度コミュニティ推進協議会 行政と協働 情報交換・コミュニティ自治・地域福祉・茨城国体など

コミュニティ推進協議会は、コミュニティの基盤強化のため、町内会等への支援や加入促進に努める、組織のあり方についても検討を行います。また、地域福

祉活動充実のための検討、平成31年に開催の「いきいき茨城ゆめ国体」への取り組み、地方創生への対応など、行政と連携、協働して取り組んでいきます。

単会それぞれの取り組み方で

コミュニティ推進協議会では、23単会が共通のテーマをそれぞれの取り組み方で課題解決をしていきます。今年度は、安全安心のまちづくりのため、東日本大震災の体験から自助を基本に、防災訓練などで地域防災力向上や住民の意識啓発に努めるとともに、防犯パトロールの強化などを進めます。

また、高齢化と共に顕著になっている課題を、それぞれの地域で高齢者が安心して暮らせるよう、社会福祉関係機関と協力して解決に取り組んでいきます。

次世代を担う青少年育成は重要な活動テーマです。小・中学校やPTAなどと連携協働して育成に努めます。

単会独自の課題は各地域の皆さんと一緒に解決していきます。

市長とコミュニティとの懇談会

今年5月18日(水)に実施された「コミュニティ代表者と市長との市政懇談会」では、市長は新庁舎や池の川さくらアリーナ建設をはじめ、まち・ひと・しごと創生総合戦略、子育て世代応援、都市基盤の整備などの市政運営について話されました。

また、昨年11月から学区コミュニティ単位で「市長との懇談会」が積極的に行われています。

今年8月までに塙山、久慈、大久保、日高、中里、諏訪、水木、

会瀬、宮田の9つの単会で開催され、それぞれの地域が抱える課題やさまざまな要望とともに、子どもからの提案も出されています。

今後は大沼、金沢、助川、坂下地区などが予定されています。



胸襟を開き語り合う

■小川春樹市長に、コミュニティ単会との懇談会を積極的に行っておられる意義や、感想などを聞きました。

市民の皆様の思いや考えを直接

聴けることや、私の市政に対する考えを皆様にお伝えできることは、まちづくりを進める上で大変重要なことであり、今後も皆様と共に安全で安心なまちづくりを進めてまいりたいと考えています。

本市の魅力である「日立らしさ」のひとつであるコミュニティの活動は、23単会のそれぞれが、特色ある手法によって地域を支えておられ、本市の大きな力となっています。

皆さんが直面する課題にしっかりと耳を傾け、共に向き合い、支え合いながら、今後も互いに胸襟を開き、まちづくりに取り組むことが、笑顔あふれるまちの実現には不可欠であると思います。

今後も、少子高齢化の問題や国体の開催に向けても、お互いに協力してやれる！と実感していますので、引き続き、ご協力をお願いします。

それぞれの地域で、みんなの創意と工夫で、住んでいてよかったと思えるまちづくりを!

地区・学区	会長	交流センターTEL
十王	深津 正孝	39-2411
豊浦	立川 伸平	43-5755
日高	志賀 勝弘	42-4050
田尻	大森 健一	42-1552
滑川	遠藤 進	22-1654
宮田	田尻 久	27-6835
中里	石川 諒一	70-8005
仲町	福地 稔昌	21-5564
中小路	矢部 敏晴	22-6483
助川	秋山 竹彦	23-0955
会瀬	柴田 和彦	25-1577
成沢	藤井 正孝	35-5587

地区・学区	会長	交流センターTEL
油繩子	益子 功喜	38-7531
諏訪	持田 幸雄	33-3841
大久保	作山 英一	34-0535
河原子	鈴木 茂弘	33-3746
塙山	西村ミチ江	34-5404
大沼	蘭部 三吉	35-8329
金沢	泉 聡二	36-3985
水木	佐藤 孝志	52-3225
大みか	村山 達男	53-5211
久慈	五来 健夫	52-0165
坂下	井上 充宏	52-3155

※お問合せ、ご相談は交流センターへ

路線バス・BRT・乗合タクシー 公共交通の維持や確保のための住民活動

日立市の人口減少や高齢化の進行の状況を踏まえ、将来に向けた都市構造再編や公共交通ネットワーク形成が必要となっています。市は10年前から「地域の

足」である公共交通の維持・確保のため、基本方針を公共交通会議で取りまとめ、学区や地域コミュニティと連携、地域特性に合わせた活動を展開しています。

パートナーシップ事業 6地区で路線バスの維持活動

日立市では路線バス利用者が年々減少、路線廃止や運行本数の減便が問題になっています。

将来にわたり、路線バスを維持するため、市民(学区コミュニティや団地自治会)、日立市(公共交通会議)、交通事業者(日立電鉄交通サービス㈱)の三者がパートナーシップ協定を締結、路線バスに対する課題や改善等について、連携して活動する公共交通パートナーシップ事業が創設されました。

路線バス利用者の減少は、山側の団地に著しく、パートナーシップ活動が強く望まれます。

平成20年度に諏訪学区がこの課題に取り組み、フリー乗車や路線変更など各種の試行運行を実施し、「パートナーシップ協定方式」を創設したのを皮切りに、そのほかの団地やコミュニティにも広がっています。

現在では諏訪学区、高鈴台団地、中丸団地、塙山学区、青葉台・堂平団地、山の神団地で実施してお

り、各地区の特性に合わせたパートナーシップ活動を展開して、乗車率の向上等の成果を上げています。

日産自動車(株)から 電気自動車の無償貸与 「NPO助け合いなかさと」に!

日立市は人口密度の低い郊外型エリアに、地域と連携して乗合タクシーを導入、坂下地区では平成19年から「みなみ号」を運行しました。

続いて、中里学区がNPO法人を立ち上げ、平成21年度から乗合タクシー「なかさと号」を運行し、順調に年月を積み重ねて、利用者の意見を取り入れてより良いサービスを提供、地域の足として



なくてはならない存在になっています。

このような運行実績が評価され、日産自動車(株)から電気自動車NV200が、3年間の期限付きで「なかさと号」に無償貸与されました。贈呈式では茨城日産(株)会長から小川春樹市長にレプリカキーが渡され、NPO助け合いなかさとの石川諒一理事長に引き継がれました。

ひたちBRT まちづくり情報交流大賞を受賞

日立電鉄線廃線跡地を利用した、ひたちBRT第1期工事区間の「おさかなセンター⇄大甕駅」が、平成25年3月から運行を開始し、第2期工事区間の「大甕駅⇄常陸多賀駅」が、平成30年運行開始予定です。

ひたちBRTは誰もが健康で生き生き暮らせるまちづくりにも寄与、BRTを核にした様々な活動が評価され、まちづくり大賞(まちづくり情報交流大賞)を受賞しました。6月10日の表彰式で、石井啓一国土交通大臣から小川春樹市長に賞状が贈られました。

■パートナーシップ協定を結び、乗車率向上を目指している地区の取り組み

地区名	協定開始年度	最近の主なパートナーシップ活動
諏訪学区	平成20年	・諏訪小2年生の体験学習 ・敬老会での送迎(タクシー) ・秋祭り公共交通イベント ・時刻表作成配布
高鈴台団地	平成24年	・「公共交通を考える会だより」発行: 利用状況、利用者の声、ポスター ・夏祭り、豚汁会での住民向けバスの乗り方教室・時刻表作成配布
中丸団地	平成24年	・年2回利用状況報告(全戸)・啓発チラシ、ポケット版時刻表配布 ・乗車促進イベント開催(バス展示、各種出し物、豚汁提供、抽選会等)
塙山学区	平成25年	・広報紙でバス利用のお出かけ情報提供・高齢者対象のバス利用事業 ・高校生の利用促進・子ども50円の活用事業・JR改正時の時刻表作成
青葉台・堂平団地	平成26年	・乗車促進のチラシ作成配布・のぼり旗の設置・大道芸大会への直行便提供 ・多賀中学生向け下校専用定期券の販売と団地直行便の設置
山の神団地	平成28年	・乗車促進チラシの作成配布 ・子供達の絵をヨークベニマルに展示 ・生活の足として定着するまで現役員で推進する。

新再生資源回収方法スタートから5か月 市民に好評！ほぼ今まで通りの回収ができています

新しい再生資源回収方法がスタートして5か月になりますが、趣旨が生かされ、清掃センターなどの指導もあり有効に機能しています。さらに一人ひとりが決められたルールを守ることが重要です。**【再生資源集積所の状況】**

■市内1,462か所の集積所で立当番なしで実施（8か所は立当番を配置）。ほぼ今まで通りの再生資源回収ができています。

■時間前に出す、分別せずに出す、再生資源以外の不適物を出すなど、ルールが守られていない一部の事例は清掃センターが対応している。

■集積所をいくつか分割したこ



とで、自宅から近くなりマナーが守られ、改善した地域もある。（地域と清掃センターが相談して集積所を複数に分割）

【休日拠点回収場所の様子】

◆昨年の約2倍の回収量があり、集積所に出せない人にとって、有効なシステムになっている。

◆粗大ごみが出される場合がある。

◆コミュニティが中心になり、自主的に拠点回収を実施している単体が数か所あり、今後も増加の方向にある。

【市民の声】

●朝の忙しい時間に資源回収の立当番で拘束されなくなり、大変助かっている。

●指定時間より早く、分別せずに出される場合があるが、清掃センターの対応があり助かっている。

●分別して出すことになっているので、立当番に関係なくマナーを守り、少しでもより良い集積所にしたいもの。

平成28年度日立市総合防災訓練 11月5日(土)実施

東日本大震災発生から5年の経過を契機に、日立市で初の全市一斉の総合防災訓練が実施されます。

震災から学んだ教訓と近年発生している自然災害を踏まえての災害応急対策の検証と地域防災力の強化を図るために計画された総合防災訓練です。

公設地方卸売市場跡地をメイン会場に、大雨による土砂災害・大地震発生・原子力災害という複合災害を想定した訓練となります。

特に原子力災害に関しては、久慈学区、大みか学区、坂下地区が原子力発電施設から5キロ圏内に位置する対象学区になるため、バスによる広域避難訓練が行われます。

同日に各学区で実施される自主防災訓練会場はサブ会場となり、シェイクアウト訓練、避難所開設訓練、災害対策本部との通信訓練、ヘリによる救出訓練（坂下地区のみ）等が予定されています。

健康づくりあれこれ ◆各種検診の受診率向上！

5月から、各種がん検診や特定健康診査が交流センターや日立メディカルセンター、保健センター等で行われています。健康は自分や家族にとって大切なものです。

地区担当保健師が地域コミュニティの方と共に、23地区毎の健診日程チラシを作成、回覧等で受診勧奨をしています。地域のイベント等でも「健診」を呼びかけしており、期間内に逃さず健診を受けて健康状態を確認しましょう。

◆健康づくり推進員の活動活発に

6月30日、日立市健康づくり推進員連絡会総会が消防本部講堂で、会員165名の出席で開催さ

れました。福地烈会長は「昨年度の設立総会以降、各地区で健康づくり推進員の活動が活発になって



きた。今後は学区を越えた活動交流を図っていききたい」と挨拶、揃いのライム色ポロシャツの推進員で活気ある総会となりました。

議事終了後は十王地区、会瀬学区、久慈学区からの活動報告があり、今後、市内23地区における健康づくりの活動が更に推進されていくことが期待されます。

◆感染症を媒介する蚊の発生防止

暑い時期に発生する蚊。蚊媒介感染症を予防するには、日頃から「蚊を発生させない対策」と「蚊に刺されない対策」に努めることが重要です。蚊は主に一週間以上水が溜まった場所から発生します。発生源を定期的に点検しましょう。

【チェックのポイント】

バケツやジョウロの中の「残り水」
空き缶・瓶、ペットボトル、食品トレー等の放置
散水用雨水の定期的な水抜き等
植木鉢の水受け皿の溜り水
ビニールシートのたるみの水溜り
雨どいや側溝の詰まりの水溜り
敷地内の雨水ますの定期的管理
古タイヤの中の水溜り
雑草や樹木の定期的な手入れ



笑顔もいっぱい「久慈川菜の花まつり」坂下地区コミュニティ推進會

推進會は、不法投棄の防止、久慈川河川敷の美化、菜種から油を採るリサイクル、子ども達の環境教育を目的に、7年前に「久慈川菜の花エコネットワーク推進會」を立ち上げました。

国土交通省からJR常磐線高架付近の2.8haの河川敷を借りて「菜の花緑地公園」を整備、市のリサイクル推進室の協力を得ながら活動してきました。

最初は留地区住民と東小沢小の児童が、菜の花の種まきや刈り取り、草取りを行っていましたが、周辺地区にも協力者を募り、今年4月24日に初の「久慈川菜の花まつり」を開催しました。

当日は、市内や近隣市町村から約500名が訪れました。満開の花の中を散策、クイズラリー、菜の花と撮った写真プレゼント、東小沢小卒業生が考案した菜の花料理のレシピ紹介、からしマヨネーズ和え等の試食、菜種油のお土産

など、菜の花を満喫しました。

推進會の井上充宏会長は「天候に左右されるので心配したが、菜の花まつりに満開になりホッとした。菜種は業者に依頼して精油し、菜種油500mlと賛助金500円と引き換え、留地区住民や協力者、坂下まつり参加者に差し上げている。この活動を始めてから、河川敷の不法投棄はほとんどなくなった」と話しました。

来年の「菜の花まつり」に向けて10月1日(土)に種まきが行われます。多くの市民の参加が期待されています。



久慈川鉄橋と満開の菜の花

「住みたいまち日立」写真展の作品を地域で展示しませんか

ひたち生き生き百年塾推進本部

ひたち生き生き百年塾では昨年まで、市民のみなさんから募集した「住みたいまち日立～心あたたまるひとコマ」の写真展を開催してきました。この写真を地域で広く見ていただこうと、交流センター等での展示を計画しています。ご賛同いただけるコミュニティは百年塾までご連絡ください。

※展示される写真は、25～27年度作品300点の中からお希望の作品をお選びください。

※百年塾ホームページに写真掲載問合せ：百年塾サロン ☎23-9165

身近で楽しめる「県北芸術祭」現代アート祭典がスタート!

茨城県で初めての現代アートの祭典「KENPOKU ART 2016茨城県北芸術祭」が、9月17日(土)から11月20日(日)の会期で始まりました。

日立市では、市民や各種団体がボランティア登録をして、作品制作の手伝いをはじめ、会場の受付や接客などおもてなしのサポートも行っています。

常陸多賀地区では7組のアーティストによる作品が展開されます。商店街全体を編まれたニットで包んでしまう芸術作品や、不要になった家電を楽器にして音楽を

もっと日立が好きになる! 日立の魅力再発見ウォーク

秋の恒例行事となった「日立の魅力再発見ウォーク」は18回目を数え、今年も各コミュニティが地域の特色を生かした魅力的なコースを企画しています。

全22コースの実施日は表のとおりです。コースの内容など詳細は、市報やコミュニティ推進協議會のホームページ、日立市ホームページをご覧ください。

秋の爽やかな一日に、ウォーキングしながら今まで気付かなかった日立の魅力に触れてみませんか。どのコースにも参加できます。

平成28年度 日立の魅力再発見ウォーク実施日

学区・地区	実施日	市報掲載
1 会 瀬	9月25日(日)	9月5日号
2 諏 訪	9月25日(日)	
3 豊 浦	10月1日(土)	
4 大久保	10月1日(土)	
5 大 沼	10月15日(土)	
6 金 沢	10月16日(日)	
7 十 王	10月29日(土)	10月5日号
8 成 沢	10月29日(土)	
9 滑 川	10月30日(日)	
10 宮 田	10月22日(土)	
11 仲 町	10月23日(日)	
12 河 原 子	10月23日(日)	
13 坂 下	10月28日(金)	10月20日号
14 油 縄 子	10月30日(日)	
15 大みか	11月6日(日)	
16 水 木	11月12日(土)	
17 田 尻	11月13日(日)	
18 中 里	11月13日(日)	
19 助 川	11月15日(火)	10月20日号
20 中小路	11月19日(土)	
21 日 高	11月26日(土)	
22 久 慈	11月26日(土)	

奏でるミュージシャンが、皆さんと演奏を行うなど楽しい祭典です。